

【報道関係各位】

2011年 新成人に関する調査

- ‘日本の将来’が「不安」9割。私たちの世代が「日本を変えてゆきたい」約7割。
- これから日本は「雇用対策」「景気回復」に取り組むべき、7割超。
- 「自分をアピール」「目立つこと」は「苦手」約5割。「空気を読むこと」は「重要」約9割。
- 買い物は「クーポン使って賢くしたい」9割。飲食代は「割り勘がよい」半数超。

2011年1月7日
株式会社マクロミル

インターネット調査会社の株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表：杉本哲哉）は、今年（2011年）、成人式を迎える全国の新成人を対象に、「2011年 新成人に関する調査」を実施いたしました。

調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は2010年12月21日（火）～12月22日（水）。有効回答数は500名から得られました。

【調査結果概要】

【1】 ‘日本の将来’が「不安」9割。私たちの世代が「日本を変えてゆきたい」約7割。

今年成人式を迎える新成人に日本の将来についてどう感じているか尋ねたところ、「安心（非常に安心+やや安心）」という回答が10%、「不安（非常に不安+やや不安）」という回答が90%となりました。就職に関しての不安が大きく、今後就職を控えている人の82%が「就職」に対して「不安を感じている」と回答しています。

そんな日本の将来に対し、新成人に自身はどうしてゆきたいか尋ねました。「自分たちの世代が日本を変えてゆきたい」と思うかという問いに「そう思う」という回答が19%、「ややそう思う」が49%と合計で約7割が自分たちの手で日本をよりよくしたいと考えているようです。具体的にどうしてゆきたいか尋ねると、「選挙に参加して政治を変えたい」と選挙権の行使を挙げる声のほか、「仕事を通じて日本を変えたい」「NPO活動を通じて、社会貢献して現状を変えたい」など様々なコメントが寄せられました。

【2】 これから日本は「雇用対策」「景気回復」に取り組むべき、7割超。

政治・選挙・経済に対する関心について尋ねたところ、政治に対して「関心がある（関心がある+やや関心がある）」と回答した人は75%、選挙については64%、経済については82%が「関心がある」と回答しています。

これから日本が取り組むべきと思うことを尋ねると、「雇用対策」が75%で最も高く、次いで「景気対策」が70%となりました。

【3】 ‘アピール’ ‘目立つこと’は苦手、約5割。‘空気を読むこと’は重要、約9割。

周囲とのコミュニケーションについて尋ねました。「人の話を聞いて理解すること」を68%の人が「得意（得意+どちらかといえば得意）」と回答する一方で、「自分をアピールすること」「目立つこと」は、約半数が「苦手（苦手+どちらかといえば苦手）」と回答しています。

また、「空気を読むこと」は重要か尋ねると「そう思う（ややそう思う+そう思う）」と回答した人が89%となっており、周囲と歩調を合わせようとする人が多いようです。

【4】 買い物は「クーポン使って賢くしたい」9割。飲食代は「割り勘がよい」半数超。

消費に関する考え方について尋ねたところ、「クーポン券やポイントカードを活用して賢く買物をしたい」と考える人は92%、「衝動買いよりも、比較検討をして買物をする人が多い」という回答が74%と、男女ともに賢く慎重に買物をしている様子がうかがえます。

支払いに関しては、「飲食代は年齢や性別に関係なく割り勘がよい」と考える人が59%、「おごられるのは気を遣うので好きではない」は55%と「割り勘志向」が過半数を占めていました。

「2011年 新成人に関する調査」

【調査結果詳細】

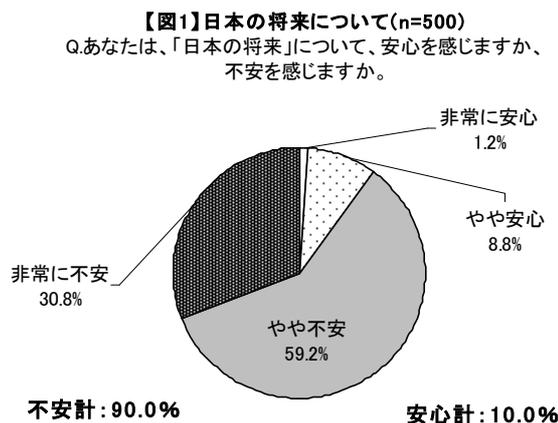
■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	平成2年～平成3年生まれの男女のうち、2011年成人式の参加対象となる人（マクロミルモニタ会員）
有効回答数:	合計500サンプル（男性250サンプル、女性250サンプル）
調査日時:	2010年12月21日（火）～12月22日（水）
調査機関:	株式会社マクロミル

■ “日本の将来”に「不安」を感じる9割

「日本の将来」についてどう感じているか尋ねたところ、「安心（非常に安心+やや安心）」と回答した人はわずか10%に留まり、「不安（非常に不安+やや不安）」と回答した人は90%を占めました。（図1）

日本の将来について「不安」と回答した理由を具体的に尋ねると、「国の借金が多い」「政治が安定していない」「日本の産業面での世界的地位が下がっている」「格差社会になっている」「若者の就職難」など様々な理由が挙がりました。（図1_1）



【図1_1】「日本の将来」が安心／不安と思う理由（自由回答一部抜粋）

Q.あなたが、「日本の将来」について安心／不安とお答えになった理由を具体的にお知らせください。

安心と思う理由	性別	職業
テレビなどでは日本がこのままじゃだめになるとか言われたりしているが、今までもそういう風には言われながらもここまでできた訳だし、これからもそういう風になると思う。	男性	学生
日本には最先端の技術があるから。	男性	学生
日本的な思考、ノウハウは簡単に真似のできるものではないから。	男性	学生
アメリカと協定を結んでるうちは安心できる。	女性	パート・アルバイト
いつも問題はあるとおもうが、日本の平和自体はなくなるのではないかな。いつも、日本のことや将来のことを考えて行動しているひとはいる。	女性	学生
不安と思う理由	性別	職業
また来年度の国債が過去最高になっており、いったい仕分け事業はなんだったのかと思う。このようなことが続いてしまうと国として成り立たなくなる。	男性	学生
安定しない政治と近隣諸国に押される経済力。特に中国や韓国に日本の要であった輸出産業のシェアを奪われたのが大きいと感じる。	男性	学生
今の日本社会はどんどん格差社会になっている。今の自分もどちらかといえば貧乏な暮らしをしているので、危機感が強い。希望も何もないわけではないが、自分がいつ底辺に落ちるかもわからない。	男性	学生
今発展途上の国に追い抜かれてきているから。日本に仕事がありませんから。	男性	学生
自給率が低いのが不安です。もし日本の外交が悪くなって輸入がなくなるとどうなるのか・・・	男性	学生
不景気で若者の就職が困難な状況で、これからの世の中を支えていく若者が働く場がないから。	男性	学生
どうなるかが予測できない。年金だってとられているけど実際はもらえるかも不安。景気もよくなるかがわからない。	女性	専業主婦
一年おきに総理大臣が変わっていることは非常に問題がある。国債も増えるばかりであるし、現状維持ではいけないはずなのに、どうにもならないように感じる。このしわ寄せがいつかきつてくるのではないかと私は考える。	女性	学生
産業の面で世界的な地位が下がっていきそう。	女性	学生
少子高齢社会であるが、高齢者をこれから十分に支えていくことができるか疑問だから。	女性	学生
税金の使い方が下手、政治家も自己の利益しか追求していないため先が見えていない、と考えるから。	女性	学生
日本を率いるのにふさわしい人物がいない。	女性	学生

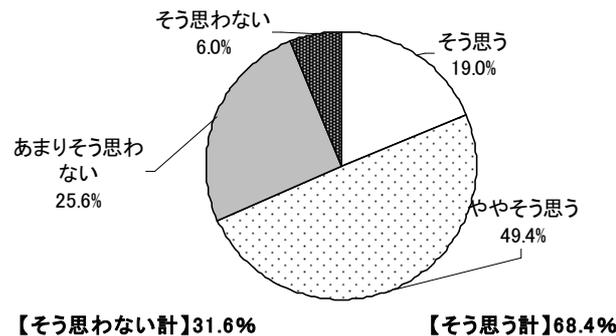
■ 自分たちの世代が“日本を変えてゆきたい”と思う人は68%

自分たちの世代が日本を変えてゆきたいと思うか尋ねたところ、「そう思う（そう思う+ややそう思う）」と回答した人は68%となりました。一方、「そう思わない（そう思わない+あまりそう思わない）」と回答した人は32%でした。（図2）

日本をどのように変えてゆきたいか、日本はどうあるべきかを具体的に尋ねると、「選挙に参加して政治を変えたい」「仕事を通じて日本を変えたい」「NPO活動を通じて、社会貢献に参加して現状を変えたい」など様々なコメントが寄せられました。（図2_1）

【図2】自分たちの世代が日本を変えていききたいと思うか(n=500)

Q.あなたは、自分たちの世代が日本の将来を変えてゆきたいと思いますか。



【図2_1】日本をどのように変えていききたいか、日本はどうあるべきか(自由回答一部抜粋)

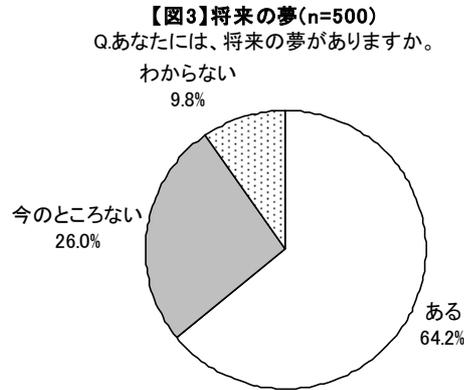
Q.あなたはどのように、日本を変えてゆきたいと思いますか。日本はどうあるべきか、自身で考えていることなどご自由にお書きください。

コメント	性別	職業
とりあえずは仕事をがんばる。	男性	会社員
選挙権を得たら、なるべく選挙に出て自分の意見を少しでも国に反映していきたい。	男性	パート・アルバイト
まず20代の選挙の投票率をあげる。	男性	学生
もっと先頭に立って盛り上げたい。	男性	学生
皆が明るく暮らせるような社会を作りたい。これからは自分たちの時代だと言う誇りを持って・・・。	男性	学生
自分は科学者になりたいので、世界をリードできる研究をして、日本を見直してもらえるように努めたい。日本人はせめてもう少しは国を愛する気持ちを持って、日本というネームの縁の下の力持ちになるべきだと思う。	男性	学生
税金を収めたり選挙に行ったり投票したり、義務を守って国に意見を述べる資格のある国民になる事が大前提でそこから、日本の問題を述べて行く事が大切だと思います。義務も守らないで不平不満を述べるのは間違っていると思います。	男性	学生
日本からたくさん人間が海外に出て行きつつ、日本人としてのアイデンティティを持つ。日本の文化を世界に広める。	男性	学生
日本は宇宙開発の分野などでだいが世界でも先進的技術を持つてるし、日本を変えるというよりは今を基盤にしてさらに発展させたいと思う。私は機械やロボットの分野をさらに発展させたい。	男性	学生
年々増加していくこれまでの日本を創ってきた高齢者に対して、社会人として何かできるのではないかなと思う。	男性	学生
発展途上国へ技術を提供したい。	男性	学生
老若男女問わず、夢を持てるような社会にしたい。フリーターやニートという言葉に象徴されるように、人生を『なんとなく』生きるのではなく『生きたいように』生きられるような社会であるべきだと思う。	男性	学生
税金と年金はきちんと納める。自分自分！って意見ばかりでは何も解決しない。協調性をもたなきゃ丸くおさまらない。	女性	会社員
「どう」変えていかは不透明だけれど、成人となり選挙権を得たからには自らの意思を反映させるべく選挙に向かい、投票という形で一人でも多く政治に興味関心を抱いているということを示すべきだと思う。	女性	会社員
選挙に積極的に参加する。選挙用紙をコンビニに設けたりすると投票率がアップすると思う。	女性	パート・アルバイト
NPOに参加、もしくは加入したり、企業の社会貢献活動に参加して身近なところから現状を知って変えていけたらいい。日本は、若い人が希望を持てる国になる必要があると思う。	女性	学生
私の力だけでは変えることは出来ないが、選挙など身近なところから政治に参加し、何かを変える力添えをしたい。日本は今、自分だけの利益を追い求めすぎている人が多い。企業の人間やただ社会で生活を送るだけならそのような傾向で良いと思うが、人の上に立ち、国を運営していく側の人間には自己犠牲を省みない強靱な精神をもっと持ってほしいと思う。	女性	学生

■ 2011年の新成人、6割強は「将来の夢がある」

今年成人式を迎える新成人に「将来の夢」があるかを尋ねたところ、将来の夢が「ある」と回答した人は64%、「今のところない」と回答した人は26%、「わからない」と回答した人は10%でした。(図3)

また、「将来の夢」について具体的に尋ねたところ、‘仕事(職業)’に関する夢の内容が多く挙がっていました。それ以外では‘立派な母親になる’‘人の役に立つ’といったコメントがありました。(図3_1)



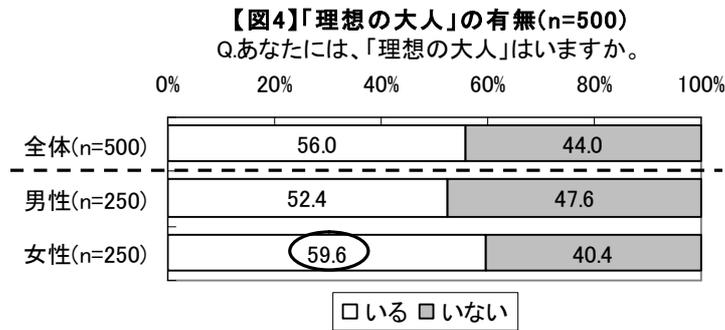
【図3.1】将来の夢(自由回答一部抜粋)

Q.あなたの将来の夢は何ですか。できるだけ具体的にお知らせください。

コメント	性別	職業
今の会社の課長クラスになる。	男性	会社員
結婚して、奥さんと子供と平凡でいいから幸せに暮らすこと。	男性	会社員
エンジニアになって社会貢献すること。	男性	会社員
パソコン関連の仕事につく。具体的にはソフトウェア開発に携われる仕事。	男性	パート・アルバイト
機械設計(特に自動車)を行い、世界で一番売れる車を作ること。また、幸せな家庭を築くこと。	男性	学生
公務員が実家の仕事を手伝いながら、結婚して妻と子どもと共に静かにのんびりと幸せに暮らす。	男性	学生
機械系のエンジニアになって、人型ロボットを作りたい。できれば宇宙で活躍するロボットの開発に関わりたい。	男性	学生
食品に含まれているタンパク質やビタミンなどを分析する仕事を通して、新しい食品の開発をやりたい。	男性	学生
仕事内容のキツさはよく聞かされてはいるもののやはり小さい頃からの夢なので、ゲームプログラマーの仕事をやってみたいと思います。	男性	学生
医者になるという夢。そして地域社会に貢献して父親母親に親孝行する。そして社会全体が健康で幸せになってほしい。	男性	学生
英語をペラペラにしゃべれるようになり、外資系の企業に入り、多くの人の役に立つ仕事に就くこと。	男性	学生
人として大切なものを失わずに生きていくこと。人の役に立つこと。	男性	学生
デザイナーとしてパリコレにでること。	男性	学生
ディズニーランドに自分が考案したアトラクションをつくること。	男性	学生
ゲームクリエイター。出来る限りみんな楽しめるゲームを作りたい。	男性	学生
最近出産したので、立派な母になること。	女性	専業主婦
東京のお笑いの劇場で、舞台監督か進行として働く。	女性	パート・アルバイト
結婚して幸せな家庭を作る！自分の親のような夫婦関係を築きたい。	女性	学生
帰国子女なので日本と過去滞在した国との間に立ち、両国を繋ぐ仕事に就く。	女性	学生
研究者になりたい。大学に残って研究することが夢。今のところは院まで必ず行きたい。できれば博士号も取りたい。自分の研究したことが社会に出て誰かの役に立ってほしい。目立たなくていいから、誰かに「ああ、こんなの考えた奴がいるのか。助かるな」とか思ってもらえるような研究がしたい。	女性	学生
医療機器メーカーに勤めて義肢や生体材料・造影剤などの研究・開発を行うこと。また、写真家になること。	女性	学生
将来の夢は、子供におはなしの読み聞かせ(絵本や図書)をしてあげたり、図書館をいろんな人たちに利用してもらえるように活性化していったり地元にあった図書館づくりをしたい。今、司書の資格を大学で所得しようとしているが正式な図書館で働くには狭き門なので自分なりに本や図書館に関わっていきたいと思っている。	女性	学生
30歳までにバックパッカーとしてユーラシア大陸を中心に旅をする。40歳までに自分のカフェを開店する。英語を流暢に話せるようになる。外国人の友達をたくさん作る。	女性	学生
自分が小さい頃からスポーツをやってきた事もあり、そしてその中でも今は野球に興味があるので、将来はプロ野球の球団職員になりたいと思っています。	女性	学生
薬剤師になって実務経験を積んで、専門薬剤師の資格を取る。	女性	学生
公務員になる。幸せな家庭をつくる。福島にJリーグチームをつくる。	女性	学生

■ 5割強の新成人に、理想の大人が「いる」

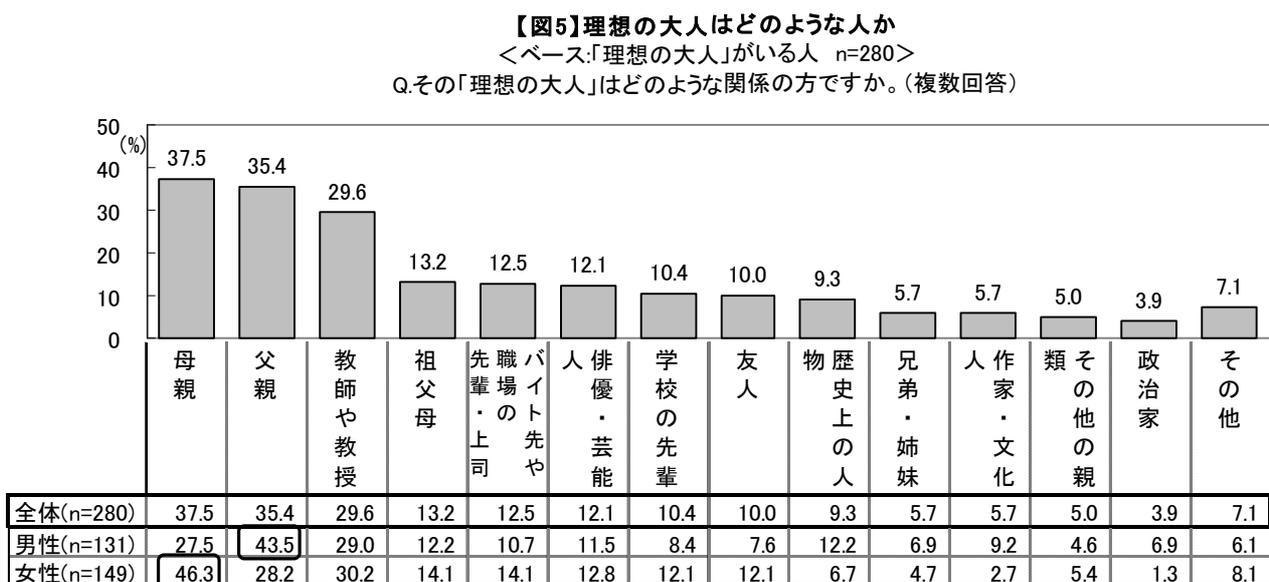
「理想の大人」がいるか尋ねたところ、「いる」と回答した人は56%となりました。男女別にみると、男性で「いる」と回答した人は52%に対し、女性で「いる」と回答した人は60%と、男性に比べやや高い割合となっています。(図4)



■ 理想の大人：男性は「父親」44%、女性は「母親」46%

理想の大人がいると回答した人に、理想の大人はどのような関係の人なのかを尋ねたところ、全体では「母親」が38%で最も多く、次いで「父親」が35%、「教師や教授」が30%となりました。

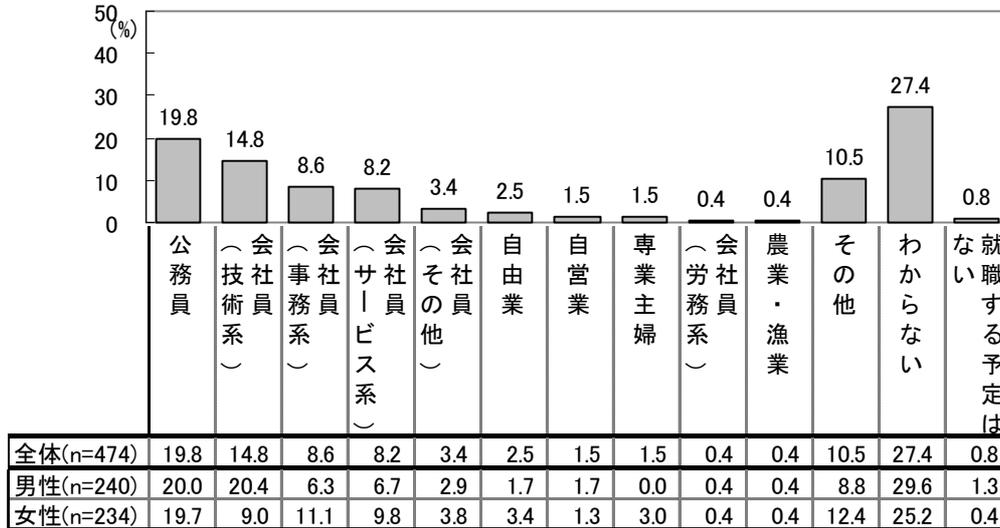
男女別にみると、男性では「父親」が44%で最も多く、次いで「教師や教授」が29%となっています。一方、女性では「母親」が46%で最も高く、次いで「教師や教授」が30%となっています。男女とも同性の親を理想像とする傾向がみられ、異性の親は「教師や教授」と同程度という結果となりました。(図5)



■ 将来、希望する職業は「公務員」が2割、会社員では技術系が人気。

現在、学生、パート・アルバイト、無職の人に、将来どのような職業に就きたいか尋ねたところ、「公務員」が20%、次いで「会社員（技術系）」15%、「会社員（事務系）」9%、「会社員（サービス系）」8%となりました。公務員では、「地方公務員」「教員」を希望する人が多いようです。（図6）

【図6】将来、どのような仕事に就きたいか
 <ベース:学生、パート・アルバイト、無職の人 n=474>
 Q.あなたは、将来どのような職業に就きたいと思っていますか。

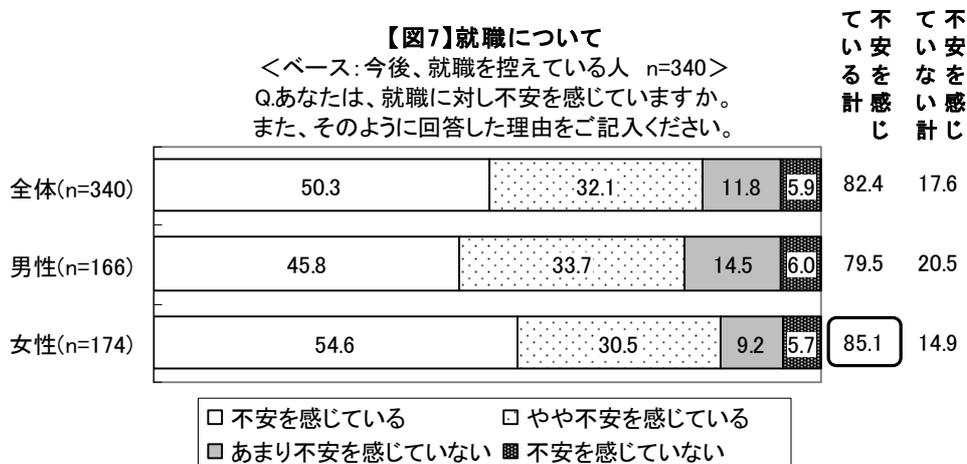


■ 就職に対して不安を感じている人は82%

今後、就職を控えている人に、就職に対して不安を感じているか尋ねたところ、「不安を感じている（不安を感じている+やや不安を感じている）」と回答した人は82%に達しました。

男女別にみると、女性で就職に不安を感じている人は85%と男性に比べ6ポイント高くなっています。（図7）

具体的にどのような不安を抱いているか尋ねてみると、「先輩たちの就職難を見ているから」「ニュースで雇用の悪化が伝えられているから」「人間関係が大変そうだから」といった意見が挙がりました。

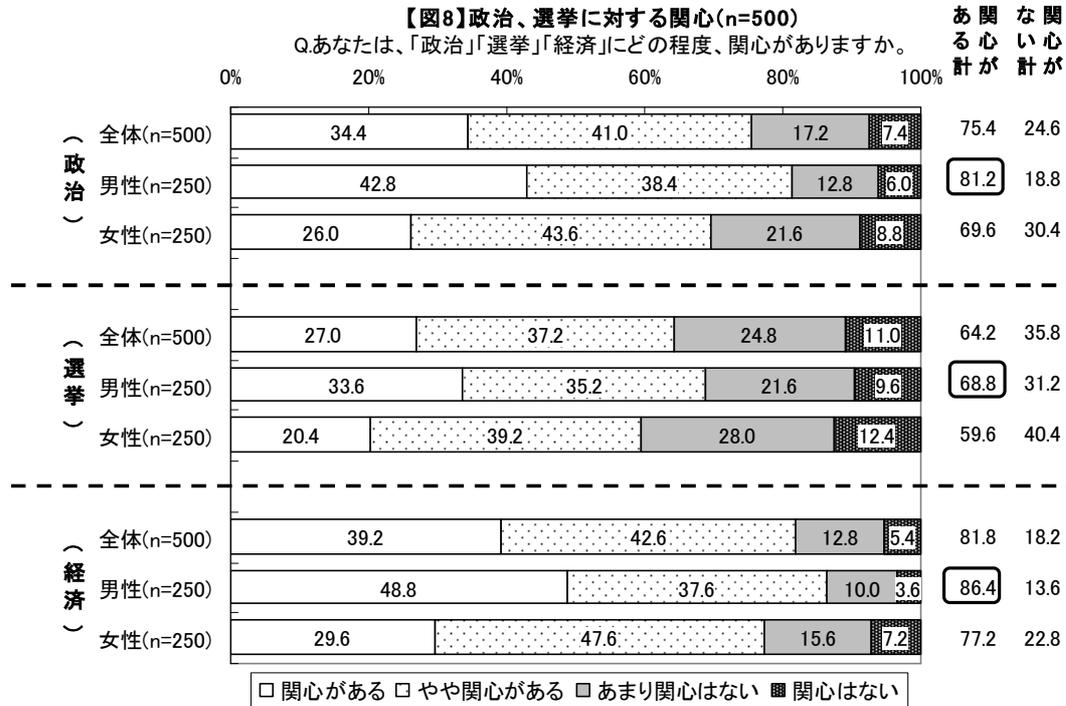


※四捨五入の関係でポイント差などの数値が数値があわないことがあります

■ 今年の新成人、75%が「政治」に、82%が「経済」に関心があり

政治・選挙・経済に対する関心を尋ねたところ、政治に対して「関心がある（関心がある+やや関心がある）」と回答した人は75%、選挙に対しては「関心がある」と回答した人は64%となりました。また、経済に対して「関心がある」と回答した人は82%となりました。

男女別にみると、政治・選挙・経済のいずれにおいても、男性は女性に比べ「関心がある」という回答が多くなっています。（図8）



■ これから日本が取り組むべきと思うことは、「雇用対策」が75%で最多

これから日本が取り組むべきと思うことについて尋ねたところ、「雇用対策」が75%で最も高く、次いで「景気対策」が70%となっています。やはり、就職に関心が高い新成人は雇用、景気に関心が高いようです。（図9）

【図9】これからの日本が取り組むべきと思うこと(n=500)(複数回答)

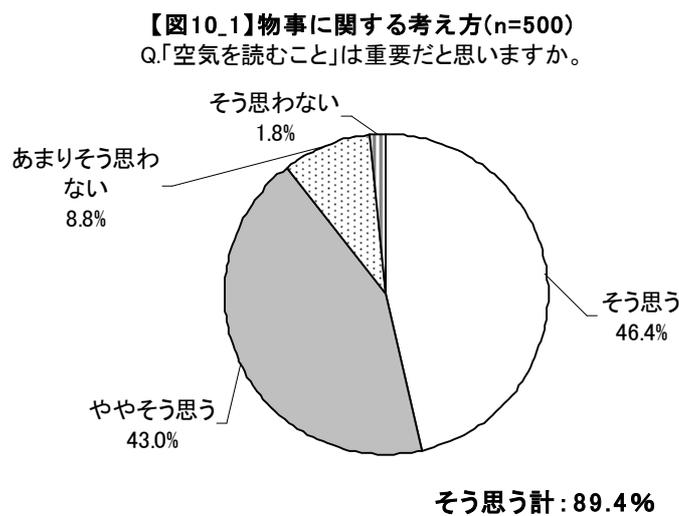
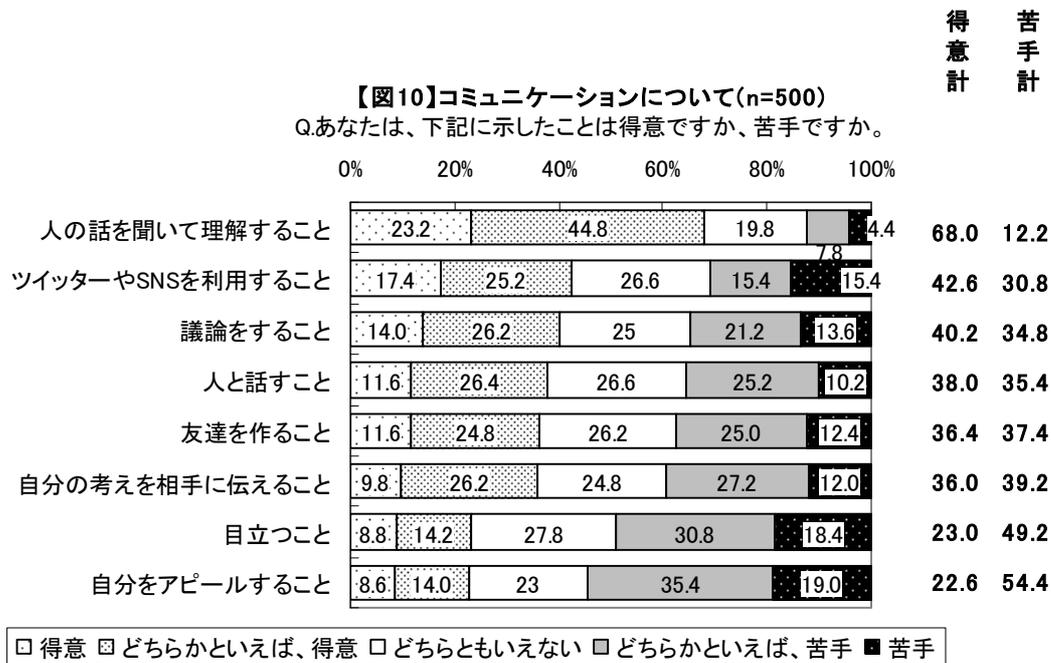
Q.これからの日本が取り組むべきだと思うことは何ですか。

順位	内容	%	順位	内容	%	順位	内容	%
1	雇用対策	75.2	11	科学技術の振興	32.8	21	文化・スポーツの振興	23.4
2	景気対策	70.4	12	格差問題への取り組み	32.6	22	治安対策	20.8
3	外交問題への取り組み	50.0	13	財政健全化の推進	30.4	23	地方分権の推進	15.2
4	年金制度の充実・改善	49.4	14	環境問題への取り組み	29.8	-	その他	2.4
5	少子化対策	46.4	15	行政改革	28.8	-	わからない	3.4
6	教育改革	40.0	16	中小企業対策	28.2			
7	医療制度の充実・改善	38.2	17	農林水産業対策	27.0			
8	地方の活性化	35.0	18	国際平和への積極的貢献	26.2			
9	税制対策	34.8	19	物価・デフレ対策	24.4			
10	防衛・安全保障	33.4	20	日本の魅力の海外発信	24.2			

■ 「自分をアピール」「目立つこと」は苦手、約半数。「空気を読むこと」は重要、約9割。

コミュニケーションに関する項目について、得意か苦手か尋ねました。「人の話を聞いて理解すること」では68%の人が「得意（得意+どちらかといえば得意）」と回答しています。一方、「目立つこと」「自分をアピールすること」を得意と回答した人は約2割に留まっており、約半数の人が「苦手（苦手+どちらかといえば苦手）」と回答しています。（図10）

また、「空気を読むこと」は重要か尋ねると「そう思う（ややそう思う+そう思う）」と回答した人が89%となっており、周囲と歩調を合わせようとする様子が見えられます。（図10_1）



■ クーポン活用で“賢く買い物”9割。“割り勘志向”約半数。

消費、男女観、結婚観について尋ねました。「クーポン券やポイントカードを活用して賢く買物をしたい」と考える人は92%、「衝動買いよりも、比較検討をして買物をする人が多い」は74%と、男女とも堅実な消費行動が見受けられます。また、「飲食費の支払いは、年齢や性別に関係なく割り勘がよい」は59%、「おごられるのは気を遣うので好きではない」は55%と‘割り勘志向’が過半数を占め、男女別にみると特に女性でその傾向は強く見られます。

男女観については、「男だから、女だから、～でなければならないという考え方は、自分にはない」が61%となりました。恋愛においては、「告白は男性がするものである」「デートの支払いは男性が多く出すものである」という考えが50%程度となっています。男女別にみると、男性で「告白は男性がするものである」と考える人は46%に留まりました。

結婚観については、「結婚したら共働きが理想だ」は64%、「結婚したら家事は分担したい」は83%、「夫婦の関係は平等であるべきだ」は92%となっています。収入が伸びない昨今において、夫婦共働きで家事を分担し、対等な夫婦関係を希望する人が多いようです。(図11)

【図11】消費、男女観、結婚観について(n=500)

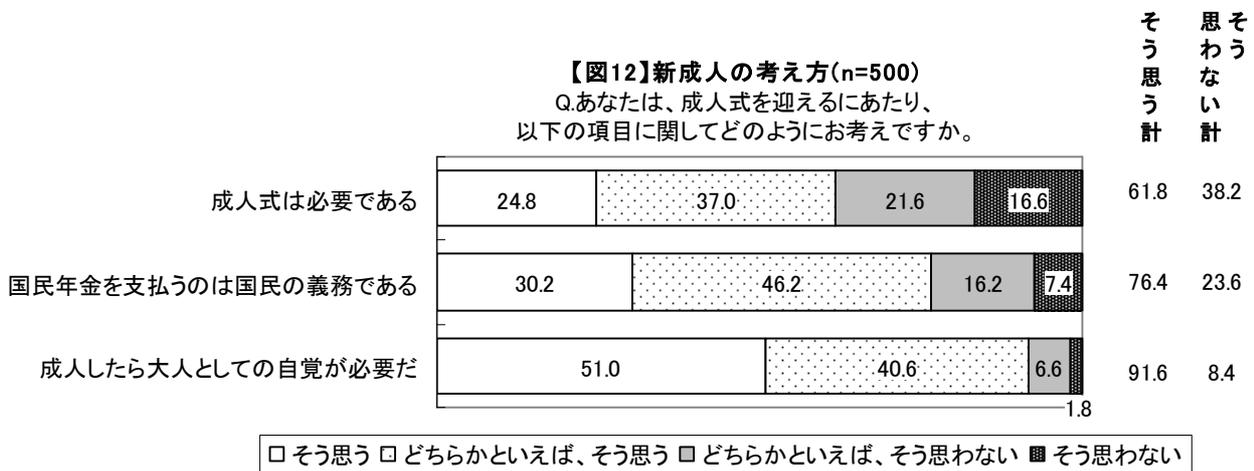
Q.下記に示した意見に対して、あなたご自身の考えを「そう思う」～「そう思わない」でお答えください。



■ 「成人式は必要である」と思う人は62%

「成人式は必要である」という項目に対して「そう思う（そう思う+どちらかといえば、そう思う）」と回答した人は62%でした。

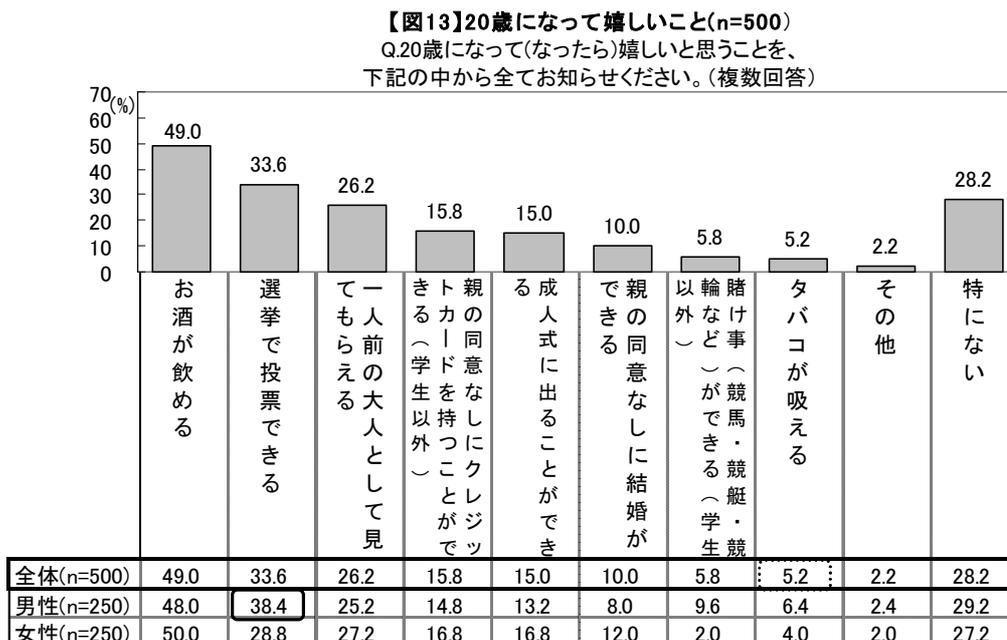
また、「国民年金を支払うのは国民の義務である」という項目に対しては「そう思う」が76%、「成人したら大人としての自覚が必要だ」という項目に関しては「そう思う」と回答した人は92%となりました。（図12）



■ 20歳になって嬉しいと思うこと、1位「お酒が飲める」49%、2位「選挙で投票できる」34%

20歳になって嬉しいと思うことについて尋ねたところ、「お酒が飲める」が49%で最も多く、次いで「選挙で投票できる」が34%、「一人前の大人として見てもらえる」が26%となっています。一方、「タバコが吸える」は5%に留まっています。

男女別にみると、男性では「選挙で投票できる」が38%と女性の29%に比べ10ポイント高くなっています。（図13）



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 100 万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
 本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 URL ■www.macromill.com
 設立 ■2000年1月31日
 資本金 ■15億9,785万円 ※2010年6月1日現在
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
 従業員数 ■564名 ※2010年12月末現在
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報担当：大野
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

＜例＞「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

